

必修の基本的事項

大項目	中項目	小項目	
1 医師のプロフェッショナリズム 約4%	A 医の倫理	① 生と死にかかわる倫理的問題	
		② 医師の職業倫理指針	
		③ 利他主義	
	B 患者の権利と義務	① 患者の権利と義務	
		② 自己決定権	
		③ インフォームド・コンセントとセカンドオピニオン	
		④ 個人情報の保護	
	C 患者医師関係	① ジュネーブ宣言、リスボン宣言	
		② 患者の意向の尊重(患者中心医療)	
③ 患者・家族の医療への参加(相互参加医療)			
2 社会と医療 約6%	A 医療制度、医療経済	① 医師法	
		② 医療法	
		③ 医療保険制度	
		④ 介護保険制度	
		⑤ 国民医療費	
	B 患者・障害者のもつ心理・社会的問題	① 疾病・障害の概念と構造	
		② 生活の質[quality of life<QOL>]	
		③ リハビリテーションの理念	
		④ ノーマライゼーション	
		⑤ 患者・障害者の心理と態度	
		⑥ 患者・障害者の社会活動と社会参加	
		⑦ 家族機能	
		⑧ 行動変容、要因分析	
	C 保健・医療・福祉・介護・教育の制度と連携	① 職種と社会資源	
		② 職種連携	
	D 医学研究と倫理	① 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針	
		② ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	
		③ 遺伝子治療等臨床研究に関する指針	
	E 臨床試験・治験と倫理性	① ヘルシンキ宣言	
		② 第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験	
		③ 医薬品の臨床試験実施の基準<GCP>	
		④ 治験審査委員会・倫理審査委員会<IRB>	
	3 診療情報と諸証明書 約2%	A 診療録、医療記録	① 診療録・医療記録の管理と保存(電子カルテを含む)
			② 診療録の内容
③ 診療情報の開示			
④ プライバシー保護、セキュリティー			
⑤ 問題志向型医療記録<POMR>			
⑥ SOAP(主観的所見、客観的所見、評価、計画)			
B 診療に関する諸記録		① 処方箋	
		② 入院診療計画書	
		③ 検査・画像・手術の記録	
		④ 退院時要約	
C 診断書、検案書、証明書		① 診断書	
		② 出生証明書	
		③ 死産証書	

大項目	中項目	小項目
		④ 死胎検案書
		⑤ 死亡診断書
		⑥ 死体検案書
4 医療の質と安全の確保 約4%	A 医療の質の確保	① 病院機能評価、国際標準化機構<ISO>
		② 医療の質に関する評価指標<クリニカルインディケータ>
		③ 患者満足度
		④ 患者説明文書、同意書、同意撤回書
		⑤ クリニカルパス
	B 医療事故の発生と再発の防止	① 医療過誤と医療事故
		② 医療事故の発生要因(ヒューマンエラー、制度・組織エラー)
		③ 医療事故の内容(誤薬、誤認、チューブ抜去、出血、外傷、感染、電撃、転倒・転落、被曝、褥瘡、自殺企図、無断離院)
		④ インシデント<ヒヤリハット>、アクシデント
		⑤ インシデントレポート、医療事故報告書
		⑥ 医療事故防止マニュアル、その他のマニュアル[医薬品管理(麻薬、向精神薬、筋弛緩薬)、医療機器管理]、医療廃棄物処理
		⑦ 医療安全管理部門、リスクマネジャー
		⑧ 医療安全支援センター
		⑨ 医療事故調査制度
		⑩ 産科医療補償制度
	C 薬剤耐性・院内感染対策	① 院内感染対策委員会
		② 院内感染サーベイランス
		③ 院内感染対策チーム<ICT>
		④ 感染対策マニュアル
		⑤ 標準予防策<standard precautions>
		⑥ 感染経路別予防策
		⑦ 抗菌薬の適正使用[antimicrobial stewardship<AMS>]
		⑧ 薬剤耐性[antimicrobial resistance<AMR>]
		⑨ 針刺し事故
	D 医療裁判	① 医事紛争、賠償
		② 医療訴訟(刑事裁判、民事裁判)
	E 医薬品・医療機器の副作用・不具合	① 有害事象と副作用
		② 副作用への対応(報告義務、治療、補償)
	F 血液・血液製剤の安全性	① 使用記録保管義務
	5 人体の構造と機能 約3%	A 周産期
② 妊娠		
③ 分娩		
④ 産褥		
B 胎児・新生児期		① 循環、呼吸
		② 胎児の発育
C 小児期		① 精神運動発達
		② 栄養

大項目	中項目	小項目
		③ 免疫
		④ 小児の行動
		① 思春期発現
	D 思春期、青年期	② 生殖機能
		③ 思春期の健康問題
		① 身体正常値
	E 壮年期	② 育児
		③ 生活習慣と疾病
		① 内分泌、閉経
	F 更年期	② 社会環境
		① 加齢による身体・心理・精神機能の変化
	G 老年期	② 高齢者総合機能評価 [comprehensive geriatric assessment<CGA>]
6 医療面接 約6%	A 医療面接の意義	① 患者医師関係の構築
		② 医療情報の収集
		③ 病状説明
		④ 患者の教育、動機付け、調整
	B マナー、オープニング	① 身だしなみ
		② 椅子の配置、座り方
		③ 礼儀、振舞い
		④ 挨拶、自己紹介
		⑤ 患者本人であることの確認
		⑥ プライバシー・体調・環境への配慮
	C 良好なコミュニケーション	① 言語的コミュニケーション
		② 準言語的コミュニケーション
		③ 非言語的コミュニケーション
		④ 傾聴の仕方
		⑤ 質問法
		⑥ 面接者の態度(共感的態度、理解的態度、支持的態度、問題解決への援助的態度、評価的態度、解釈的態度、調査的態度、逃避的態度)
		⑦ 感情面への対応(共感、支持、反映、肯定、尊重、支援、探索)
	D 病歴情報	① 主訴
		② 現病歴
		③ 常用薬、アレルギー歴
④ 既往歴		
⑤ 家族歴		
⑥ 嗜好		
⑦ 生活習慣		
⑧ 社会歴		
⑨ 生活環境、家庭環境		
⑩ 海外渡航歴		
⑪ システムレビュー<review of systems>		
⑫ プロブレムリスト		
E 心理・社会的情報	① 解釈モデル	

大項目	中項目	小項目
		② 心理・社会的状況
		③ 検査や治療に対する希望・好み
		④ 受療行動、対処行動、他医受診、処方内容
		F 話の伝え方
	G 治療への動機付け	① 患者の理解度
		② コンプライアンス、アドヒアランス
		③ 意識啓発とその継続
	H 説明と報告	① 上級医への説明と報告
		② カンファレンスでのプレゼンテーション
	7 主要症候 約15%	A 全身症候
② 全身倦怠感		
③ 食思<欲>不振		
④ 体重減少・増加		
⑤ ショック		
⑥ 意識障害		
⑦ けいれん		
⑧ めまい		
⑨ 脱水		
⑩ 浮腫		
B 皮膚、粘膜		① 皮疹、粘膜疹
		② そう痒
C 頭頸部、感覚器		① 視力障害
		② 視野異常
		③ 眼痛
		④ 眼球運動障害、複視
		⑤ 結膜充血、眼脂
		⑥ 聴力障害(難聴)
		⑦ 耳鳴
		⑧ 鼻出血
		⑨ 咽頭痛
		⑩ 嘔声
D 呼吸器、心臓、血管		① 咳嗽
		② 喀痰
		③ 血痰、喀血
	④ 喘鳴	
	⑤ 呼吸困難、息切れ	
	⑥ チアノーゼ	
	⑦ 胸痛、胸部圧迫感	
	⑧ 失神	
	⑨ 動悸	
	⑩ 頻脈、徐脈	
	⑪ 不整脈	
	⑫ 高血圧	
E 消化器	① 嚥下障害、誤嚥	
	② 腹痛	

大項目	中項目	小項目
		③ むねやけ
		④ 悪心、嘔吐
		⑤ 吐血、下血
		⑥ 便秘
		⑦ 下痢、(粘)血便
		⑧ 黄疸
		⑨ 腹部膨隆・膨満
	F 血液、造血器、免疫	① 貧血
		② リンパ節腫脹
		③ 出血傾向
	G 腎、泌尿器、生殖器	① 乏尿、無尿
		② 多尿
		③ 排尿障害
		④ 血尿、タンパク尿
		⑤ 月経異常、無月経
		⑥ 性器出血
	H 心理、精神機能	① 記憶障害
		② 思考障害(妄想、強迫)
		③ 幻覚
		④ 抑うつ・躁状態
		⑤ 不安、恐怖
		⑥ 睡眠障害
	I 神経、運動器	① 構音障害、失語
		② 頭痛、頭重感
		③ 運動麻痺、筋力低下
		④ 運動失調
		⑤ 不随意運動
		⑥ 歩行障害
		⑦ 感覚障害
		⑧ 腰・背部痛
		⑨ 筋肉痛
		⑩ 関節痛
		⑪ 関節腫脹、関節変形
	J 内分泌、代謝、栄養、 乳腺疾患	① 肥満、やせ
		② 乳房のしこり・左右差・皮膚の陥凹
	K 周産期の異常を示す 症状	① 妊娠の異常
		② 分娩の異常
		③ 産褥の異常
		④ 胎児・新生児の異常
	L 小児特有の全身症状	① 哺乳力低下
		② 体重増加不良
		③ 活動性低下
		④ 啼泣異常
		⑤ 発達の遅れ
		⑥ 性発達の異常

大項目	中項目	小項目
8 一般的な身体診察 約13%	A 診察のあり方	① 診察前後の標準予防策<standard precautions>
		② 安全への配慮
		③ 患者への配慮(プライバシー・羞恥心・苦痛への配慮)
		④ 患者への声かけと例示
	B 診察の基本手技	① 視診
		② 聴診
		③ 打診
		④ 触診
	C 診察時の患者の体位	① 立位
		② 座位、半座位
		③ 臥位(仰臥位、腹臥位、側臥位)
		④ 砕石位
	D 全身の診察	① 意識レベル、精神状態の評価
		② 体格の評価(身長、体重)
		③ バイタルサイン(体温、呼吸、脈拍、血圧)
		④ 全身の外観(体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声)
		⑤ リンパ節の触診
	E 頭頸部の診察	① 頭部
		② 眼瞼、眼球
		③ 耳、鼻
		④ 口唇、口腔、咽頭、扁桃
⑤ 甲状腺、頸部血管、気管、唾液腺		
⑥ 聴力の検査		
F 胸部の診察	① 胸郭	
	② 呼吸音(気管、気管支、肺胞)、副雑音	
	③ 心音、心雑音	
	④ 背部の叩打痛	
	⑤ 乳房	
G 腹部の診察	① 形状	
	② 肝臓、脾臓、腎臓	
	③ 圧痛、腹膜刺激徴候、筋性防御	
	④ 腹水	
	⑤ 腸雑音、血管雑音	
H 肛門と直腸の診察		
I 生殖器の診察	① 男性	
	② 女性	
	③ 妊婦	
J 筋骨格系の診察	① 四肢、脊柱(彎曲、疼痛、叩打痛)	
	② 関節(可動域、腫脹、疼痛、変形)	
	③ 徒手筋力テスト	
K 神経系の診察	① 脳神経	
	② 髄膜刺激症候(項部硬直、Kernig徴候)	
	③ 運動系	
	④ 腱反射、病的反射	
	⑤ 感覚(痛覚、温度覚、触覚、深部感覚)	

大項目	中項目	小項目
		⑥ 小脳機能
	L 四肢の診察	① 浮腫 ② 動脈、静脈
9 検査の基本 約5%	A 意義と目標	① 診断 ② 治療効果判定 ③ スクリーニング、健康診断
	B 検査の安全性	① 実施の説明 ② 患者確認と検体の確認 ③ 検査の合併症
	C 検体の採取	① 採血 ② 採尿、採便 ③ 採痰 ④ 穿刺 ⑤ 生検 ⑥ 擦過
	D 検体の保存	① 保存方法 ② 保存期間
	E 結果の解釈	① 基準値、カットオフ値 ② 誤差、生理的変動 ③ パニック値と緊急対応
	F 一般臨床検査	① 尿検査 ② 糞便検査 ③ 胸水・腹水の検査 ④ 脳脊髄液検査
	G 血液学検査	① 血球検査 ② 凝固・線溶系検査 ③ 血液型、輸血関連検査
	H 生化学検査	① 一般的な生化学検査 ② タンパク分画、免疫電気泳動
	I 免疫血清学検査	① 炎症マーカー ② 自己抗体 ③ 血清学的診断
	J 遺伝子関連検査	① 病原体遺伝子<核酸>検査 ② 遺伝学的検査
	K 微生物学検査	① 採取法 ② 染色法 ③ 培養検査 ④ 薬剤感受性試験 ⑤ 病原体の迅速検査
	L 病理組織学検査、細胞診	① 組織診 ② 細胞診
	M 動脈血ガス分析	① 適応と採血法 ② 結果の解釈
	N 生体機能検査	① 呼吸機能検査 ② 心電図検査 ③ 脈波検査

大項目	中項目	小項目
		④ 内分泌・代謝機能検査
		⑤ 脳波検査
		⑥ 針筋電図検査、末梢神経伝導検査
	O 画像・内視鏡検査	① エックス線撮影(胸部、腹部、骨)
		② CT(単純、造影)
		③ 超音波検査
		④ 磁気共鳴画像(MRI)
		⑤ 核医学検査(PETを含む)
		⑥ 内視鏡検査
10 臨床判断の基本 約4%	A 根拠に基づいた医療 <EBM>	① 患者の問題の定式化
		② 情報収集法
		③ 批判的吟味
		④ 患者への適用
		⑤ 研究デザイン
		⑥ メタ分析<メタアナリシス>
		⑦ 診療ガイドライン
		⑧ エビデンスレベル
	B 臨床疫学的指標	① 内的妥当性、外的妥当性
		② バイアス、交絡因子
		③ アウトカム
		④ 信頼区間
		⑤ 相対危険度<relative risk>(リスク比)、寄与危険度 <attributable risk>(リスク差)、オッズ比<odds ratio>
		⑥ 検査前確率<事前確率>、検査後確率<事後確率>
		⑦ 感度、特異度
		⑧ 尤度比
		⑨ receiver operating characteristics<ROC>曲線
	C 誤差と精度	① 正確度
		② 精密度、再現性
	D 基準値	① 基準範囲の概念
		② 生理的変動
		③ 性差、年齢差
		④ 異常値と原因
	E 有効性と効率性	① 費用対効果分析
	F 医療情報	① 一次情報、二次情報
		② 検索方法
11 救急初期診療 約9%	A 救急患者の診察	① バイタルサインの把握
		② トリアージ(致命的な病態・疾患・外傷の鑑別)
		③ 重要臓器機能の障害を招く病態・疾患
		④ 外傷患者初期診療
		⑤ 緊急治療の要否の判断
		⑥ 部位別治療優先順位の判断
		⑦ 院外心停止<OHCA>
	B 基本的な救急処置	① 一次救命処置<BLS>
		② 二次救命処置<ALS>

大項目	中項目	小項目	
		③ 気道確保(気管挿管、外科的気道確保)	
		④ 人工呼吸療法	
		⑤ 除細動、緊急ペーシング	
		⑥ 蘇生的輸液療法(静脈確保を含む)	
		⑦ 基本的緊急薬物療法	
		⑧ 止血法	
		⑨ 輸血療法	
		⑩ 脳保護療法(脳ヘルニア対策、体温管理療法)	
		⑪ 体温異常に対する救急処置	
		⑫ 致命的骨折の固定法(頸椎、骨盤、大腿)	
		C 症状・傷病別の初期対応	① 心停止
			② 失神
	③ 意識障害		
	④ ショック		
	⑤ けいれん、けいれん重積状態		
	⑥ 頭痛		
	⑦ 高体温、低体温{症}		
	⑧ 運動麻痺、感覚障害		
	⑨ めまい		
	⑩ 呼吸困難、喘鳴		
⑪ 胸痛、背部痛			
⑫ 腹痛、腰痛			
⑬ 急性消化管出血			
⑭ 誤飲、誤嚥			
⑮ 尿閉			
⑯ 精巣痛			
⑰ 損傷(外傷、熱傷、溺水)			
⑱ 薬物中毒			
⑲ 敗血症			
⑳ 精神科救急			
D 災害医療	① 大規模災害(地震、津波、多数傷病者事故、テロ)		
	② 救護活動の基本(指揮と統制、安全、情報伝達、評価、トリアージ、治療、搬送)		
12 主要疾患・症候群 約10%	A 妊娠・周産期の異常	① 流・早産	
		② 妊娠高血圧症候群	
	B 精神・心身医学的疾患	① うつ病、双極性障害<躁うつ病>	
		② 統合失調症	
		③ 不安障害(パニック障害、社交<社会>不安障害)	
		④ 身体表現性障害(疼痛性障害、心気症)、心身症、ストレス関連障害(心的外傷後ストレス障害<PTSD>、急性ストレス障害)、過換気症候群	
	C 皮膚・頭頸部疾患	① 湿疹、皮膚炎(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎)	
		② 蕁麻疹	
		③ 薬疹	
		④ ウイルス性発疹症(麻疹、風疹、水痘、ヘルペス)	
		⑤ 皮膚潰瘍、褥瘡	

大項目	中項目	小項目	
		⑥ 結膜炎、角膜炎	
		⑦ 白内障	
		⑧ 緑内障	
		⑨ 糖尿病・高血圧・動脈硬化による眼底変化	
		⑩ 急性中耳炎	
		⑪ 良性発作性頭位めまい症	
		⑫ アレルギー性鼻炎	
		⑬ 急性副鼻腔炎、慢性副鼻腔炎	
		D 呼吸器・胸壁・縦隔疾患	① 上気道炎、扁桃炎、気管支炎、細気管支炎
			② 肺炎
			③ 肺結核、肺真菌症
			④ 気管支喘息(小児喘息を含む)
			⑤ 慢性閉塞性肺疾患<COPD>
	⑥ 肺癌		
	⑦ 間質性肺疾患		
	⑧ 自然気胸、緊張性気胸、外傷性気胸		
	⑨ 急性呼吸窮迫症候群<ARDS>		
	⑩ 睡眠時無呼吸症候群		
	⑪ 肺塞栓症		
	E 心臓・脈管疾患	① 不整脈	
		② 先天性心疾患	
		③ 弁膜症(僧帽弁膜症、大動脈弁膜症)	
		④ 急性心筋梗塞、急性冠症候群、狭心症	
		⑤ 心筋症、心筋炎	
		⑥ 高血圧症	
		⑦ 急性大動脈解離、大動脈瘤破裂	
		⑧ 末梢性動脈疾患	
		⑨ 深部静脈血栓症、下肢静脈瘤	
		⑩ 心不全、肺水腫	
	F 消化器・腹壁・腹膜疾患	① 胃食道逆流症<GERD>	
		② 胃静脈瘤、食道静脈瘤	
		③ 食道癌	
		④ 胃潰瘍、十二指腸潰瘍<消化性潰瘍>	
		⑤ 胃癌	
		⑥ 急性胃腸炎	
		⑦ 便秘症	
		⑧ 乳児下痢症	
		⑨ 急性虫垂炎	
		⑩ 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、Crohn病)	
		⑪ 機能的消化管障害(機能的ディスぺプシア<FD>、過敏性腸症候群)	
		⑫ 大腸癌	
		⑬ 痔瘻、痔核	
	⑭ 急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝		
	⑮ 肝硬変、肝不全、肝性脳症		
	⑯ 肝癌		

大項目	中項目	小項目
		⑰ 胆石症、胆嚢炎、胆管炎
		⑱ 急性膵炎、慢性膵炎
		⑲ 膵癌
		⑳ 鼠径ヘルニア
		㉑ 腸閉塞
		㉒ 腸重積症
		㉓ 汎発性腹膜炎
	G 血液・造血器疾患	① 鉄欠乏性貧血、二次性貧血
		② 急性白血病、慢性白血病
		③ 播種性血管内凝固<DIC>
		④ 悪性リンパ腫、骨髄腫
	H 腎・泌尿器・生殖器疾患	① 急性糸球体腎炎症候群、慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群
		② 糖尿病腎症
		③ 急性腎障害、慢性腎臓病
		④ 腎細胞癌、膀胱癌
		⑤ 尿路結石、尿路感染症
		⑥ 前立腺肥大症、前立腺癌
		⑦ 更年期障害
		⑧ 子宮内膜症、月経困難症
		⑨ 子宮筋腫、子宮頸癌、子宮体癌
		⑩ 卵巣癌、卵巣嚢腫
	I 神経・運動器疾患	① 認知症
		② 緊張型頭痛、片頭痛
		③ 脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫
		④ 脳梗塞、一過性脳虚血発作
		⑤ Parkinson病
		⑥ 髄膜炎、脳炎、脳症
		⑦ 熱性けいれん
		⑧ てんかん
		⑨ 脳性麻痺
		⑩ 頭部外傷、脊髄損傷
		⑪ 変形性脊椎症、脊柱管狭窄症
		⑫ 椎間板ヘルニア
		⑬ 変形性関節症
		⑭ 骨折
	J 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患	① 甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症
		② 糖尿病
		③ 脂質異常症
		④ 高尿酸血症、痛風
		⑤ 骨粗鬆症
		⑥ 乳癌
	K アレルギー性疾患、膠原病、免疫病	① アナフィラキシー
		② 関節リウマチ
		③ 全身性エリテマトーデス<SLE>

大項目	中項目	小項目
	L 生活環境因子・職業性因子による疾患	① アルコール依存症、薬物依存症 ② 熱中症、寒冷による障害 ③ 食中毒
13 治療の基本 約4%	A 一般的な治療の基本	① 食事・栄養療法
		② 薬物療法
		③ 輸液、輸血
		④ 手術、周術期の管理、麻酔
		⑤ 臓器・組織移植、人工臓器
		⑥ 放射線治療
		⑦ 内視鏡治療
		⑧ リハビリテーション
		⑨ 救急患者の治療
		⑩ 緩和ケア
B 在宅医療と介護	① 環境整備	
	② 患者・家族の心理	
	③ 医療・福祉と介護の連携	
	④ 在宅酸素療法、在宅栄養療法	
	⑤ 在宅での看取り	
C 褥瘡の処置・治療	① チーム医療	
	② 予防、評価、治療	
14 基本的手技 約4%	A 一般的手技	① 静脈採血
		② 静脈確保
		③ 動脈採血
		④ 穿刺
		⑤ 胃管の挿入
		⑥ 尿道カテーテルの挿入
		⑦ 気道確保
	B 注射	① 皮内
		② 皮下
		③ 筋肉
		④ 静脈
	C 外科手技	① 清潔操作
		② 縫合、抜糸
		③ 創の消毒
		④ 創の被覆
⑤ 手術介助		
15 死、緩和ケア、終末期ケア 約2%	A 死の判定と診断	① 心臓死、脳死、脳死判定
		② 異状死
		③ 死亡診断、死体検案
	B 緩和ケア	① 緩和ケアの概念
		② 全人的苦痛<トータルペイン>
		③ 苦痛の緩和
		④ 緩和ケアチーム
		⑤ ホスピス
		⑥ 緩和ケア病棟<PCU>

大項目	中項目	小項目
		⑦ 疼痛のアセスメント ⑧ 疼痛緩和の薬物療法 ⑨ がん疼痛治療法
	C 終末期ケア	① 死に至る心の過程 ② 終末期患者とのコミュニケーション ③ 終末期における意志決定 ④ 尊厳死、リビングウィル ⑤ do not attempt resuscitation<DNAR> ⑥ 終末期における水・栄養管理 ⑦ 延命治療 ⑧ 安楽死 ⑨ 家族ケア(悲嘆のケア<グリーフケア>) ⑩ 小児の特殊性
16 チーム医療 約2%	A 医療機関でのチームワーク	① 医師間の連携 ② 医師以外の医療専門職の役割 ③ 医師を含む医療専門職の連携
	B 地域医療でのチームワーク	① 病診連携、病病連携 ② 保健・医療・福祉・介護・教育の連携 ③ 家族との連携 ④ クリニカルパス
	C コンサルテーション	① 自己責任と自分の限界
	D 社会生活	① 社会復帰 ② 社会保障制度(所得、介護、障害) ③ 人的支援 ④ 物的支援(福祉用具) ⑤ 自立
17 生活習慣とリスク 約5%	A 基本概念	① 国民健康づくり運動 ② 生活習慣病のリスクファクター ③ 健康寿命の延伸と生活の質[quality of life<QOL>]の向上 ④ 行動変容 ⑤ 健康づくり支援のための環境整備
	B 栄養、食生活	① 食事摂取基準 ② 栄養マネジメント<栄養管理> ③ 食行動
	C 身体活動、運動	① 身体活動とエネルギー消費 ② 運動の効用
	D 休養・心の健康	① 睡眠の質、不眠 ② ストレス対策 ③ 過重労働対策 ④ 自殺の予防
	E 喫煙	① 喫煙状況 ② 喫煙の有害性 ③ 受動喫煙 ④ 禁煙支援
	F 飲酒	① 飲酒状況

大項目	中項目	小項目
		② 飲酒の有害性
		③ アルコール依存への支援
	G 生涯設計	① 環境レベル
		② 知識レベル
		③ 行動レベルと行動変容
18 一般教養的事項 約2%	A 医学史	
	B 医学・医療に関する 人文・社会科学・自 然科学・芸術などに 関連する一般教養的 知識や考え方	
	C 診療に必要な一般的 な医学英語	